

令和7年度

監査報告書Ⅰ

(定期監査・前期)

飯田市監査委員

7 飯監第 23 号の 4
令和 7 年 8 月 19 日

飯 田 市 長 佐 藤 健 様
飯田市議会議長 竹 村 圭 史 様
飯田市教育長 熊 谷 邦 千 加 様

飯田市監査委員 吉 田 賢 二
飯田市監査委員 戸 崎 博
飯田市監査委員 清 水 勇

監査結果の報告について

飯田市監査基準並びに地方自治法第 199 条第 1 項、第 2 項及び第 4 項の規定により実施した令和 7 年度定期監査の結果を、同条第 9 項の規定により報告します。

なお、同条第 14 項の規定により、監査結果に基づき、又は監査の結果を参考として措置を講じたときは、その旨を監査委員に通知してください。

第1 監査の種類

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定による定期監査（前期）

第2 監査の対象及び期日

1 予備監査（現金及び物品等検査）

監査期日	監査対象	実施場所
4月22日	上村自治振興センター及び公民館、南信濃自治振興センター及び公民館、上村保育園、和田保育園	現 地
4月23日	橋北、橋南、羽場、丸山、東野の各自治振興センター及び各公民館	現 地
4月25日	伊賀良、鼎、上郷の各自治振興センター及び各公民館	現 地

2 面接監査

監査月日	監査実施部署等	実施場所
6月3日	【保育家庭課】 上村保育園、和田保育園	監査室
6月4日	【地域自治振興課】【市公民館】 橋北、橋南、羽場、丸山、東野、伊賀良、鼎、上郷、上村、南信濃の各自治振興センター及び各公民館	監査室

3 書類監査

監査実施 部署等	【地域自治振興課】【市公民館】 座光寺、松尾、下久堅、上久堅、千代、龍江、竜丘、川路、三穂、山本の各自治振興センター及び各公民館 【保育家庭課】 丸山、座光寺、下久堅、上久堅、龍江、竜丘、川路、三穂、山本、中村、殿岡、鼎みつば、上郷西の各保育園
-------------	---

第3 監査の着眼点

地方自治法第199条第1項の規定による財務監査のみならず、事務事業の執行が経済性、効率性、有効性及び法令遵守等に則って適正に行われているかという、同条第2項の規定による行政監査の観点にも留意し実施した。

第4 監査の主な実施内容

財務に関する事務の執行等について、あらかじめ指定して提出を求めた予算の執行状況及びその他関係資料に基づき、所管の長及び関係職員から説明を聴取した。
また、現金の取扱及び物品等の管理状況について予備監査を実施した。

第5 監査の期間

令和7年3月10日から令和7年8月19日まで

第6 監査を実施した監査委員

監査を実施した監査委員は次のとおり。

令和7年3月10日から令和7年8月19日まで 吉田 賢二 監査委員、戸崎 博 監査委員
令和7年3月10日から令和7年4月27日まで 原 和世 監査委員
令和7年5月13日から令和7年8月19日まで 清水 勇 監査委員

第7 監査の結果

予算の執行及び財産、物品等の管理は、概ね適正に処理されていたことを認めたが、次のとおり、一部に改善の検討を要する事項があったので、内容を十分把握して、それぞれ必要な措置を講じられたい。

また、第9に監査結果に基づき講じた措置の状況を掲載した。

【監査結果件数】

主管部署	面接監査実施 部署等の数	監査結果件数		
		指摘事項	指導事項	検討要望事項
地域自治振興課	自治振興センター 10	0	0	2
保育家庭課	保育園 2	0	0	3
市公民館	地区公民館 10	0	0	3
合計	22	0	0	8

【監査結果の区分】

指摘事項：財務に関する事務の執行について、是正又は改善を求めるもの

指導事項：是正又は改善を求める事項のうち、軽微なもの

検討要望事項：制度又は運用について改善の検討を求めるもの、複数の部署に対して統一的な指導を求めるもの

1 地域自治振興課

(1) 指摘事項

なし

(2) 指導事項

なし

(3) 検討要望事項

① 高齢世帯、独居高齢者の増加や住民意識の多様化により組合未加入者が増加していることを認めた。組合加入率の低下は、住民の支え合いや地域における人間関係の希薄化に拍車をかけ、コミュニティの弱体化につながるため、個人の価値観の多様化を考慮しつつ、各地区における未加入者への働きかけの事例を横展開し、各地区の実態に合わせた組合加入活動を支援されたい。

② 組合未加入者の増加や少子高齢化による人口減により地区の役員の担い手不足に苦慮していることを認めた。地域自治振興課並びに市公民館は、地区における市の事業への係わり方について、更なる見直しを行うとともに、各自治振興センター並びに各公民館は、各地区が実施する役員負担軽減につながる創意工夫の取り組みを横展開し、地区の状況に応じた役員負担軽減の取り組みがなされるよう支援されたい。

2 保育家庭課

(1) 指摘事項

なし

(2) 指導事項

なし

(3) 検討要望事項

① 園児数が少ない上村保育園、和田保育園の今後のあり方について、地域の意向や保護者の考えを把握し、現在協議が進んでいる遠山郷学園構想の情報を共有しながら検討されたい。

- ② 上村保育園、和田保育園の合同保育における朝夕の園児の移動に送迎車両を利用していることについて、引き続き、添乗する職員による安全確認を着実にを行い、置き去りや事故防止に努められたい。また、運転手の体調管理や車両の安全管理に心掛け、園児の安全確保に努められたい。
- ③ 和田保育園では、「土砂災害に関する避難確保計画」など災害時の対応に関する計画について、地区の特性に応じて見直しを行ったことを認めた。各保育園において、地区の特性を考慮した災害対応マニュアルの見直しが行われるよう園長会等で横展開を図られたい。

3 市公民館

(1) 指摘事項

なし

(2) 指導事項

なし

(3) 検討要望事項

- ① 高齢世帯、独居高齢者の増加や住民意識の多様化により組合未加入者が増加していることを認めた。組合加入率の低下は、住民の支え合いや地域における人間関係の希薄化に拍車をかけ、コミュニティの弱体化につながるため、個人の価値観の多様化を考慮しつつ、各地区における未加入者への働きかけの事例を横展開し、各地区の実態に合わせた組合加入活動を支援されたい。
- ② 組合未加入者の増加や少子高齢化による人口減により地区の役員の担い手不足に苦慮していることを認めた。地域自治振興課並びに市公民館は、地区における市の事業への係わり方について、更なる見直しを行うとともに、各自治振興センター並びに各公民館は、各地区が実施する役員負担軽減につながる創意工夫の取り組みを横展開し、地区の状況に応じた役員負担軽減の取り組みがなされるよう支援されたい。
- ③ 一部の地域において、中高生が地区の運動会や文化祭などにスタッフとして参加していることや、高校生が地区の公認レポーターとして広報活動を行っていることなど、公民館活動を始めとする地区の行事に次世代を担う中高生の参加を意識した取り組みがなされていることを認めた。若い世代の頃から地区活動に参加することが、地域への誇りや愛着心を向上させ、将来のまちづくりにつながることを心掛け、各公民館における中高生を取り込んだ事例を全公民館で共有し、より一層、中高生が地区住民と交流する機会の創出に努められたい。

第8 監査の概要

1 自治振興センター

(1) 各地区の状況

(令和7年3月末日現在・出生数は令和6年度中)

地区名	人口 (人)	世帯数 (戸)	65歳以上 人口(人)	高齢化率	出生数 (人)	組合 加入率
橋北	2,645	1,367	1,078	40.8%	18	91.0%
橋南	2,401	1,171	937	39.0%	11	94.8%
羽場	4,618	2,053	1,447	31.3%	32	81.6%
丸山	3,101	1,402	1,079	34.8%	25	81.1%
東野	2,626	1,275	955	36.4%	13	94.6%
座光寺	4,007	1,583	1,417	35.4%	24	65.6%

地区名	人口 (人)	世帯数 (戸)	65歳以上 人口(人)	高齢化率	出生数 (人)	組合 加入率	
松尾	12,632	5,401	3,495	27.7%	95	57.9%	
下久堅	2,493	953	1,000	40.1%	5	93.1%	
上久堅	1,097	465	520	47.4%	2	97.1%	
千代	1,378	549	648	47.0%	2	89.5%	
龍江	2,465	998	1,069	43.4%	6	91.0%	
竜丘	6,471	2,645	2,057	31.8%	37	82.0%	
川路	1,923	785	754	39.2%	8	92.4%	
三穂	1,274	458	500	39.2%	2	97.2%	
山本	4,287	1,722	1,627	38.0%	18	77.5%	
伊賀良	13,825	5,702	4,099	29.6%	92	49.1%	
鼎	12,829	5,540	3,980	31.0%	89	59.7%	
上郷	12,791	5,543	4,123	32.2%	78	43.2%	
上村	311	162	190	61.1%	2	90.4%	
南信濃	1,019	571	629	61.7%	0	98.2%	
合計	94,193	40,345	31,604	33.6%	559	65.8%	
合計	R6.3.31	95,400	40,257	31,896	33.4%	639	67.7%
	R5.3.31	96,557	40,151	32,109	33.3%	611	68.0%
	R4.3.31	97,750	40,076	32,286	33.0%	686	69.4%
	R3.3.31	98,921	40,064	32,342	32.7%	683	70.8%

注1：組合加入率は、各自治振興センターより提出された定期監査資料の独自調査による数値を使用した。

注2：平成24年7月9日の住民基本台帳法改正に伴い、外国人住民も含まれた数値である。

○ 65歳以上の高齢者の人口に占める割合（高齢化率）は、市全体で前年度に比べて0.2ポイント上昇している。また、組合加入率は、市全体で前年度に比べて1.9ポイント低下している。

(2) まちづくり委員会等の状況

① 役員等の状況

(令和7年4月1日現在)

地区名	単位自治会数	地域協議会等			まちづくり委員会等		
		委員数 (人)	内公募 委員数 (人)	内女性 委員数 (人)	委員会 等の数	委員数 (人)	内女性 委員数 (人)
橋北	20	17	2	5	5	161	52
橋南	38	18	4	6	6	213	52
羽場	13	21	4	8	9	163	46
丸山	11	19	4	6	7	147	45
東野	18	16	3	6	5	155	53
座光寺	18	20	3	7	5	178	84
松尾	12	24	4	6	7	232	65
下久堅	7	18	5	6	6	264	103
上久堅	13	14	2	2	10	108	21
千代	11	11	2	4	8	115	28
龍江	33	17	3	7	5	82	12
竜丘	5	18	3	7	6	76	19
川路	7	16	3	5	8	138	42
三穂	13	12	2	5	5	102	31

地区名	単位自治会数	地域協議会等			まちづくり委員会等		
		委員数 (人)	内公募 委員数 (人)	内女性 委員数 (人)	委員会 等の数	委員数 (人)	内女性 委員数 (人)
山本	29	19	3	5	5	148	60
伊賀良	8	20	3	8	6	311	103
鼎	10	21	4	9	10	341	101
上郷	10	22	4	7	6	230	21
上村	4	10	2	3	4	47	11
南信濃	35	11	2	4	6	95	24
合計	315	344	62	116	129	3,306	973
前年度	318	349	63	122	130	3,723	1,089

② パワーアップ地域交付金等の状況

(令和7年3月末日現在)

地区名	パワーアップ地域交付金		まちづくり委員会等の収支		
	交付金額(円)	収入に占める割合	収入決算額(円)	支出決算額(円)	収支残(円)
橋北	3,838,740	31.3%	12,266,643	8,629,188	3,637,455
橋南	3,624,772	27.3%	13,286,396	10,262,614	3,023,782
羽場	5,053,060	35.0%	14,422,433	13,565,751	856,682
丸山	4,163,476	26.9%	15,472,848	11,880,874	3,591,974
東野	3,786,452	33.9%	11,165,213	9,944,010	1,221,203
座光寺	4,781,300	12.3%	38,749,262	27,558,644	11,190,618
松尾	10,705,668	22.3%	48,027,201	42,100,744	5,926,457
下久堅	3,732,788	14.3%	26,093,342	20,124,496	5,968,846
上久堅	2,700,100	16.6%	16,227,689	13,100,781	3,126,908
千代	2,932,644	15.7%	18,649,895	14,489,315	4,160,580
龍江	3,675,684	14.7%	24,985,516	19,038,800	5,946,716
竜丘	6,471,028	18.9%	34,252,285	28,746,290	5,505,995
川路	3,225,732	16.7%	19,313,612	15,788,653	3,524,959
三穂	2,795,044	26.5%	10,543,316	9,893,342	649,974
山本	5,039,300	29.7%	16,985,947	14,990,510	1,995,437
伊賀良	11,641,348	20.2%	57,559,787	37,979,804	19,579,983
鼎	10,881,108	25.6%	42,582,791	31,772,031	10,810,760
上郷	11,112,276	29.3%	37,926,800	34,262,140	3,664,660
上村	2,123,556	15.8%	13,468,069	12,477,022	991,047
南信濃	2,715,924	20.6%	13,156,435	11,860,622	1,295,813
合計	105,000,000	21.6%	485,135,480	388,465,631	96,669,849
前年度	105,000,000	21.5%	488,532,226	386,475,670	102,056,556

注：パワーアップ地域交付金は、人口割と均等割により算定されている。

2 公立保育園

(1) 施設の状況

(各年度4月1日現在 管内公立保育園)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
保育園数	16	16	16	15	15
内未満児保育	12	12	12	11	11
内長時間・延長保育	14	14	14	13	13
入所定員 (人) (A)	1,345	1,125	1,125	1,022	1,022
入所人員 (人) (B)	878	827	737	619	595
3歳以上 (人)	704	656	574	483	460
3歳未満 (人) (C)	174	171	163	136	135
充足率 (B)/(A)	65.3%	73.5%	65.5%	60.6%	58.2%
未満児割合 (C)/(B)	19.8%	20.7%	22.1%	22.0%	22.7%

○ 松尾東保育園は令和6年4月1日から民営化された。

○ 充足率は前年度に比べて2.4ポイント低下している。

(2) 職員の配置状況

(各年度4月1日現在 管内公立保育園)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
保育士 (人)	237	241	248	214	209	
正規職員	77	79	80	78	77	
会計年度 任用職員	フルタイム パートタイム	37 123	31 131	33 135	25 111	24 108
正規割合	32.5%	32.8%	32.3%	36.4%	36.8%	
調理員 (人)	34	31	30	29	30	
正規職員	13	13	13	11	11	
会計年度 任用職員	フルタイム パートタイム	0 21	0 18	0 17	0 18	0 19

(3) 保育料の収納状況

(各年度3月末日現在)

区分	令和5年度		令和6年度		
	現年度分 (円)	過年度分 (円)	現年度分 (円)	過年度分 (円)	
公立計	調定額	38,118,100	184,920	20,971,250	189,700
	収入額	38,002,500	84,320	20,971,250	160,300
	未納額	115,600	100,600	0	29,400
	収納率	99.7%	45.6%	100.0%	84.5%
私立計	調定額	46,725,160	1,336,649	20,829,900	1,272,080
	収入額	46,242,760	469,230	20,661,200	370,230
	未納額	482,400	867,419	168,700	901,850
	収納率	99.0%	35.1%	99.2%	29.1%
合計	調定額	84,843,260	1,521,569	41,801,150	1,461,780
	収入額	84,245,260	553,550	41,632,450	530,530
	未納額	598,000	968,019	168,700	931,250
	収納率	99.3%	36.4%	99.6%	36.3%

3 各地区公民館

(1) 各地区公民館における令和6年度予算執行状況 (令和7年3月末日現在)

区分	予算額合計(円)	執行額合計(円)	予算残額(円)	執行率
管理費	7,923,000	7,462,591	460,409	94.2%
事業費	7,002,000	6,246,584	755,416	89.2%

注1：管理費は、公民館の管理に直接掛かる費用（消耗品費、燃料費）である。

注2：事業費は、公民館の事業実施に係る費用（報償費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費）である。

(2) 公民館事業の概要

20地区の公民館事業の概要は次のとおりである。

事業種別	令和5年度		令和6年度		増減	
	回数	延人数・部数	回数	延人数・部数	回数	延人数・部数
学級・講座	1,191回	21,490人	1,239回	22,125人	48回	635人
体育事業	132回	15,945人	140回	17,918人	8回	1,973人
文化事業	192回	27,278人	199回	30,146人	7回	2,868人
広報事業	109回	36,420部/回	109回	35,890部/回	0回	△530部/回
育成事業	103回	3,853人	108回	4,287人	5回	434人
その他事業	1,125回	36,830人	1,222回	34,688人	97回	△2,142人

○ 各地区公民館では、「学級・講座」においては乳幼児学級等、「体育事業」においてはスポーツ大会等、「文化事業」においては文化祭等、地区の状況に沿った様々な事業が行われている。

第9 監査結果に基づき講じた措置の報告 (地方自治法第199条第14項の規定に基づくもの)

1 令和7年度監査報告書I (定期監査・前期) 検討要望事項

検討要望事項	措置状況
<p>(1) 高齢世帯、独居高齢者の増加や住民意識の多様化により組合未加入者が増加していることを認めた。組合加入率の低下は、住民の支え合いや地域における人間関係の希薄化に拍車をかけ、コミュニティの弱体化につながるため、個人の価値観の多様化を考慮しつつ、各地区における未加入者への働きかけの事例を横展開し、各地区の実態に合わせた組合加入活動を支援されたい。</p>	<p>(1) 自治活動組織への加入については、加入促進コーディネーター事業をはじめ、それぞれの地区の状況に応じた加入支援策を、各地区まちづくり委員会等が中心となって進めており、それらの支援を継続するとともに、まちづくり委員会連絡会議等を通じて、各地区の取組事例を情報共有し、横展開できるように、更に支援を行っていく。</p> <p style="text-align: right;">【地域自治振興課】 【各自治振興センター】</p> <p>公民館は、地域の特色をいかした学習活動、住民同士のつながりや共感を大切に交流活動などを推進している。様々な場面において、世代間の交流、地域への入口となる「場」と「つながり」を生み出している活動が、組合加入を促す一つのきっかけとなっていることを踏まえて、誰もが気軽に公民館活動へ参加できるようまちづくり委員会等と情報共有しながら実践している (次頁へ続く)</p>

検討要望事項	措置状況
	<p>く。また、各地区における公民館活動が組合加入につながるという認識を公民館主事会等で共有し、それぞれの地区の実情に合わせた取組につなげていく。</p> <p style="text-align: right;">【市公民館】 【各公民館】</p>
<p>(2) 組合未加入者の増加や少子高齢化による人口減により地区の役員の担い手不足に苦慮していることを認めた。地域自治振興課並びに市公民館は、地区における市の事業への係わり方について、更なる見直しを行うとともに、各自治振興センター並びに各公民館は、各地区が実施する役員負担軽減につながる創意工夫の取り組みを横展開し、地区の状況に応じた役員負担軽減の取り組みがなされるよう支援されたい。</p>	<p>(2) 地区の役員の担い手不足については、人口減少など地域を取り巻く環境変化に対応し、これまで各地区で事業の見直しや組織改編を進めてきており、一定の成果も見られるため、まちづくり委員会連絡会議等を通じて、各地区の取組事例を情報共有し、横展開できるように、更に支援を行っていく。</p> <p style="text-align: right;">【地域自治振興課】 【各自治振興センター】</p> <p>これまでも、各地区において、公民館専門委員会の統合、委員数の見直しを進め、さらに、事業の組立、会議回数の縮減など、地域とともに取り組んでいる。各地域の実情に合わせた役員負担軽減への取組の内容を、公民館主事会等において共有し、自館事業の組立、役員改選期へ向けての検討等へとつなげ、役員負担軽減となるよう努めていく。</p> <p style="text-align: right;">【市公民館】 【各公民館】</p>
<p>(3) 園児数が少ない上村保育園、和田保育園の今後のあり方について、地域の意向や保護者の考えを把握し、現在協議が進んでいる遠山郷学園構想の情報を共有しながら検討されたい。</p>	<p>(3) 上村保育園、和田保育園の今後のあり方について、地域の意向や保護者の考えを把握する場を設け、十分な意見集約を図り、遠山郷学園構想とも情報共有を図りながら両園の今後の在り方について検討してまいりたい。</p> <p style="text-align: right;">【保育家庭課】 【各保育園】</p>
<p>(4) 上村保育園、和田保育園の合同保育における朝夕の園児の移動に送迎車両を利用していることについて、引き続き、添乗する職員による安全確認を着実にを行い、置き去りや事故防止に努められたい。また、運転手の体調管理や車両の安全管理に心掛け、園児の安全確保に努められたい。</p>	<p>(4) 園児の送迎車両の運用については、引き続き、運転手や添乗職員の体調確認を行ったうえで安全な運行に努めたい。また、毎回の運行ごとにチェックシートを活用し、置き去りや事故防止に努め、適切で確実な運行に心掛けるようにしたい。</p> <p style="text-align: right;">【保育家庭課】 【各保育園】</p>

検討要望事項	措置状況
<p>(5) 和田保育園では、「土砂災害に関する避難確保計画」など災害時の対応に関する計画について、地区の特性に応じて見直しを行ったことを認めた。各保育園において、地区の特性を考慮した災害対応マニュアルの見直しが行われるよう園長会等で横展開を図られたい。</p>	<p>(5) 地区の特性も考慮し、保育園の所在する位置と周辺のハザードに応じ、各保育園での独自のリスクを加味した災害対応マニュアルの見直しを進められるように横展開を図る。</p> <p style="text-align: right;">【保育家庭課】 【各保育園】</p>
<p>(6) 一部の地域において、中高生が地区の運動会や文化祭などにスタッフとして参加していることや、高校生が地区の公認レポーターとして広報活動を行っていることなど、公民館活動を始めとする地区の行事に次世代を担う中高生の参加を意識した取り組みがなされていることを認めた。若い世代の頃から地区活動に参加することが、地域への誇りや愛着心を向上させ、将来のまちづくりにつながることを心掛け、各公民館における中高生を取り込んだ事例を全公民館で共有し、より一層、中高生が地区住民と交流する機会の創出に努められたい。</p>	<p>(6) 中高生の地域参画は、学校とは異なる場で地域住民と関わり、中高生ならではの視点や活動を通じて地域に新たな風が吹き込まれる等、個人の成長と地域の未来にとって非常に重要である。各公民館における中高生を取り込んだ取組を、公民館主事会プロジェクト及び主事会で情報共有し、将来、地域社会において役割を担う人材を育む土台として、引き続き中高生も関わり続けられる公民館活動を展開していく。</p> <p style="text-align: right;">【市公民館】 【各公民館】</p>